

児童発達支援自己評価表(公表)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		建物が3階あり。1階部分は多目的ホールで使用。学習や個別指導訓練は3階のスペースで行っており、集中できる環境になっており、動と静をはっきりと分けてある。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		常勤職員5名 非常勤職員3名。理学療法士も常勤している
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		建物が3階建ての為、子ども達にはわかりやすく、遊ぶ場所、生活する場所、学習する場所、個別指導訓練、相談する場所がはっきりと分かりやすくなっている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		多目的ホールはボール遊び等もでき、子ども達が思い切って遊べるスペースは十分に確保されている
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		毎回振り返りシートを職員に配り、目標を設定し、反省や次回、子どもたちにどのようにしていくべきかをシートに書いてもらっている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者様とはハグシステム上でのメールや、電話、送迎の時に話を聞きながら改善に繋げている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		評価表の結果についてはホームページにて公開している
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		法人内で第三者委員会があるので、評価結果を公表しながら色々な意見を頂きながら改善があれば繋げていきたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		オンライン研修は必ず参加したり、近所の事業所と、ヒヤリハット研修、感染症研修等をおこなっている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		担当者会議等で課題に対して毎月話し合いを行い、全職員で計画を作成している
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		理学療法士、保育士等が日常子どもと関りながら、意見交換をしながら行動を把握に努めている
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		計画の中には必ず3つの項目は入れており、特に、家族支援、地域支援には力を入れながら、家族が一番に幸せになってもらう事を目標に、父親、母親、祖父母、幼稚園、保育園、小学校からも話を聞きながら、トータルサポートができるように計画支援を設定している。また、「保育所等訪問」も定期的に行いながら、学校での様子を保護者に伝える事や、学校で何かあれば、学校にすぐに迎えに行ける体制を整えている。保護者の負担を少しでも軽減できるように体制を強化している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		保育所等訪問支援を行っていることから、保育園や幼稚園での困り感を事業所内でも共有しながら、理学療法士による個別指導訓練を取り入れ継続的な支援を行っている
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		外出活動や、個別活動は計画書を作成しながら、全員で定期的に話し合いを持ち、全員で活動プログラムを作成している
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		活動は、年間行事、月行事、週末等を盛り込み、地域の行事も取り込みながら子どもたちが楽しかったと思える事や、色々な体験ができるように少年自然の家等の行事も参加しながら自然に親しみ、伝統行事を学ぶ、海や山の雄大さを感じる事を中心に工夫している
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		個別活動、制作活動、レクリエーション等、保育士が毎週の週案の中で組み合わせて計画している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		前日に週案等を確認しながら、ホワイトボードに計画を書き、だれが何をいつどこで子どもたちも分かるように書いておく。子どもたちも帰りの会で最後は今日の反省や楽しかったこと発表するようにしている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		送迎終了後は、必ず保護者へ伝えた事、記録等を振り返り、気づいたことを発表して、明日の計画につなげられるように毎回ホワイトボードに記載している
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		ハグシステムを利用しているので、記録を毎回とり、支援の検証や改善に繋げていることで、全員がいつでもどこでも見える記録なので、常に検証を行っている
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的なモニタリングを行い、毎回、保護者様へは電話連絡をしたり、連絡帳でのやりとりを行いながら必要性があれば実際に個別指導訓練や、行事等に参加して頂き、見ていただいている
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児発普、児童指導員、保育士、理学療法士等専門的なスタッフが参加している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		鹿屋市や児童相談所等と、連絡をしながら定期的に関係機関との会議に参加している。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	—	—	医療的ケアが必要な児童はおりません
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	—	—	医療的ケアが必要な児童はおりません
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保育所訪問支援を行っている為、定期的に訪問しながら担任と情報共有を行い、実際に園の様子を見たり、子どもたちの雰囲気は保護者様にも伝えながら相互理解を深めて支援している
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保育所等訪問支援を行っている為、定期的に学校に訪問し、授業風景を見たり、担任と話をしながら情報共有を行い、保護者様にもお伝えしながら相互理解を深めている
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		他の事業所にはコロナ対策をしながら、見学に行ったり、実習や研修をしたり、オンラインで助言を受けたりしている。また、公認心理師は大学教授からも助言を頂きながらより専門性を高めている
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		コロナ禍で現在はなかなか交流ができない状況ではあるが、地域の児童センター等の活動に積極的に参加している
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		こども部会や地域の子ども会の会議、また児童相談所が主催で行っている会議等は定期的に参加している

	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		毎日の送迎時に保護者様とは必ず話を行い、記録に取りながら、保護者様の負担軽減にも繋げられるように支援を行っている
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		実際に保護者様へ行事の参加、個別指導訓練等を見に来て頂きながら保護者様に対して説明を行っている
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		担当者会議で説明を行っている。一度では伝わらない部分は後日電話や、メール等で説明を行っている
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		計画書ができれば、家庭訪問、もしくは、電話で説明を行い、同意を頂きサインしてもらっている
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者様の悩み相談を定期的に、行い、話が気軽にできる環境を整えており、必要な助言を行いながら負担軽減につなげている
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者会は計画していたが、コロナ禍でなかなか実現できなかった。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		相談があれば、全職員と共通理解を深め、できる事、できない事ははっきりと伝えている。
	37	定期的な会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月、管理表等を発行し、予定や情報を発信している。また、SNS等で活動報告を行っている
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報に関しては担当者会議の時に、説明し、事業所内で取り扱いについて注意している
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		ハグシステムでメール等で伝えている事が理解できない場合は必ず電話で丁寧に説明している。また相談支援専門員が家庭訪問しながら説明している
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		行事に関しては、保護者、地域住民にも声をかけ、だれでも自由に参加できるように張り紙等を作成して、町内会長へ伝えたり、公民館を利用したりと地域住民に広く示している
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		各マニュアルを作成して、避難訓練、感染症研修等を行い、保護者様にも説明している
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		消防署にも計画をあげながら、避難訓練等を行い、子ども達にも周知している
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		服薬等があれば、保護者様には必ず確認をして服薬提出表を必ず提出させている。必要があれば、適宜、法人内に常勤している看護師にも助言を頂く。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		保護者様にはアレルギーに関する提出物を確認してもらい、担当者会議の時に確認し、対応している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットマニュアルを作成しているので、事業所でヒヤリハットがあれば報告書を提出し、共有して改善を行っている
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		法人内(児童養護施設大隅学園)ではより専門的な虐待ケースに対する専門の研修をスーパーバイズを受けながら行っている
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		担当者会議の時や、万が一の場合は保護者に連絡を入れて、状況をお伝えしながら了解を得ている。